

<参考> 保育所における感染症ガイドラインより

	登園を控えるのが望ましい場合	保育が可能な場合	保護者への連絡が望ましい場合	至急受診が必要と考えられる場合
発熱	<p>*発熱期間と同日の回復期間必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝から37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い ・食欲がなく朝食・水分が摂れていない ・24時間以内に解熱剤を使用している ・24時間以内に38℃以上の熱が出ていた <p>*1歳以下の乳児の場合（上記にプラスして）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平熱より1℃以上高いとき（38℃以上あるとき） 	<p>*前日38℃を超える熱がでていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱が37.5℃以下で元気があり機嫌が良い ・顔色が良い ・食事や水分がとれている ・発熱を伴う発疹が出ていない ・排尿の回数が減っていない ・咳や鼻水を認めるが増悪していない ・24時間以内に解熱剤を使っていない ・24時間以内に38℃以上の熱はでていない 	<p>*38℃以上の発熱がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気がなく機嫌が悪い ・咳で眠れず目覚める ・排尿回数がいつもより減っている ・食欲がなく水分がとれない <p>※熱性痙攣の既往児 医師の指示に従う</p>	<p>*38℃以上の発熱の有無に関わらず</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔色が悪く苦しそうなとき ・小鼻がピクピクして呼吸が速い時 ・意識がはっきりしないとき ・頻繁な嘔吐や下痢があるとき ・不機嫌でぐったりしているとき ・けいれんが5分以上治まらないとき ・3か月未満児で38℃以上の発熱があるとき
下痢	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間以内に2回以上の水様便がある ・食事や水分を摂ると下痢がある（1日4回以上の下痢） ・下痢に伴い、体温がいつもより高めである ・朝、排尿がない ・機嫌が悪く、元気がない ・顔色が悪くぐったりしている 	<p>・感染のおそれがないと診断されたとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間以内に2回以上の水様便がない ・食事、水分を摂っても下痢がない ・発熱が伴わない ・排尿がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事や水分を摂ると刺激で下痢をする ・腹痛を伴う下痢がある ・水様便が2回以上みられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気がなく、ぐったりしているとき ・下痢の他に機嫌が悪く食欲がなく発熱や嘔吐、腹痛を伴うとき ・脱水症状と思われるとき 下痢と一緒に嘔吐 水分がとれない 唇や舌が乾いている 尿が半日以上出ない（量が少なく、色が濃い） ・米のとぎ汁のような水様便が数回 ・血液や粘液、黒っぽい便のとき
嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間以内に2回以上の嘔吐がある ・嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである ・食欲がなく、水分もほしがらない ・機嫌が悪く元気がない ・顔色が悪くぐったりしている 	<p>・感染のおそれがないと診断されたとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間以内に2回以上の嘔吐がない ・発熱がみられない ・水分摂取ができ食欲がある ・機嫌がよく元気である ・顔色が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・咳を伴わない嘔吐がある ・元気がなく機嫌、顔色が悪い ・2回以上の嘔吐があり、水を飲んでも吐く ・吐き気がとまらない ・お腹を痛がる ・下痢を伴う 	<ul style="list-style-type: none"> ・嘔吐の回数が多く顔色が悪いとき ・元気がなく、ぐったりしているとき 水分が摂取できないとき 血液やコーヒーのかすの様な物を吐いたとき ・頻回の下痢や血液の混じった便が出たとき ・発熱、腹痛の症状があるとき ・脱水症状と思われるとき 尿が半日以上出ない 落ちくぼんで見える目 唇や舌が乾いている 張りのない皮膚や陰囊